

# 新型「ハイゼット」「アトレー」

## 商品概要

ダイハツ工業株式会社

製品企画部 エグゼクティブチーフエンジニア

松本 隆之

# INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化

1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼット トラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車



# INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化

1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車







- ハイゼット：「たくさん積めて、壊れない、お求めやすく、頼れる“働く相棒”」として進化
- アトレー：「4人乗っても荷物がたくさん積める 軽RVの先駆け」として誕生

### ハイゼット カーゴ

1960年～



### ハイゼットトラック

1960年～



### アトレー※

1981年～



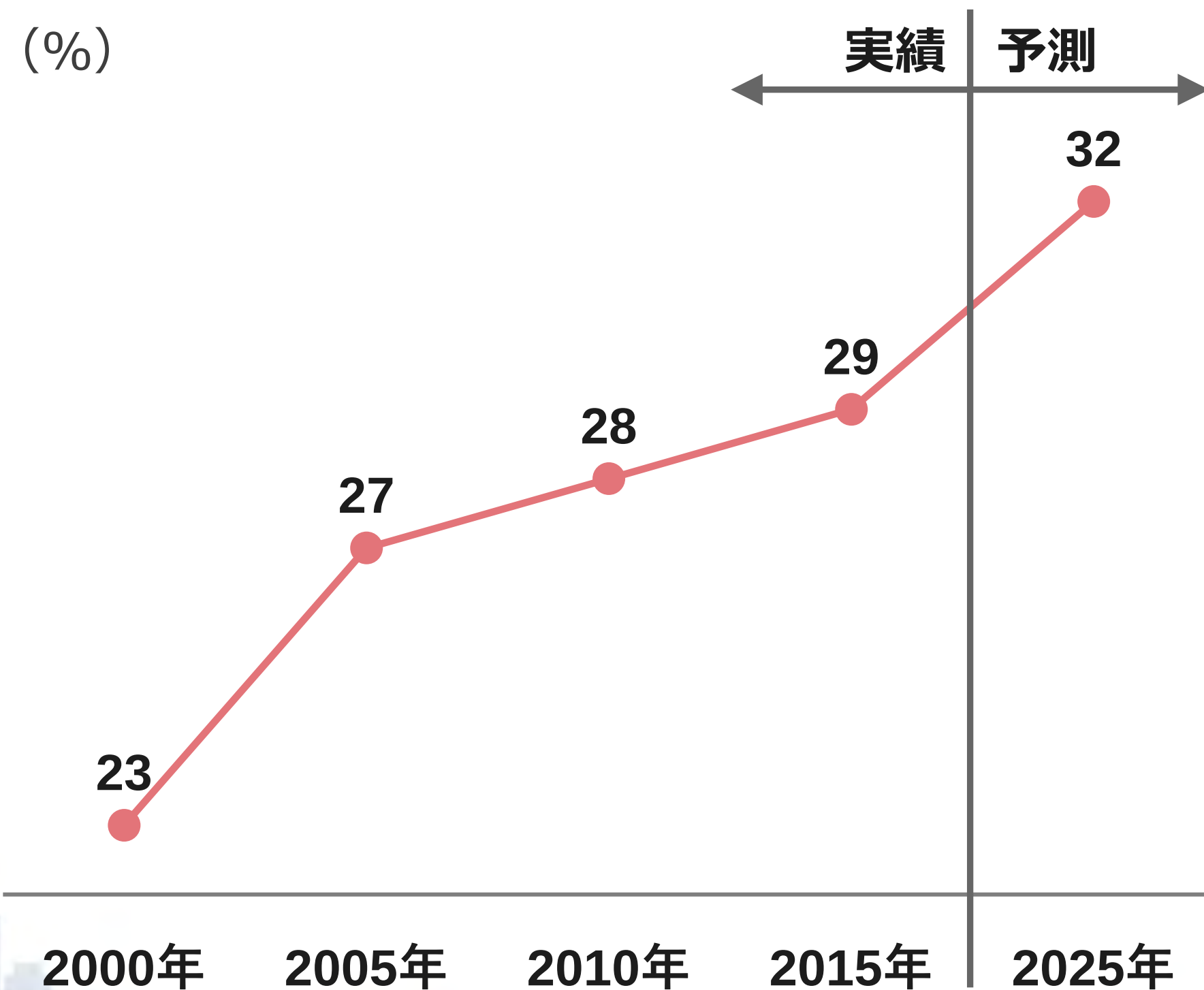
※1981年に「ハイゼットアトレー」として発売。1999年に「アトレーワゴン」を発売



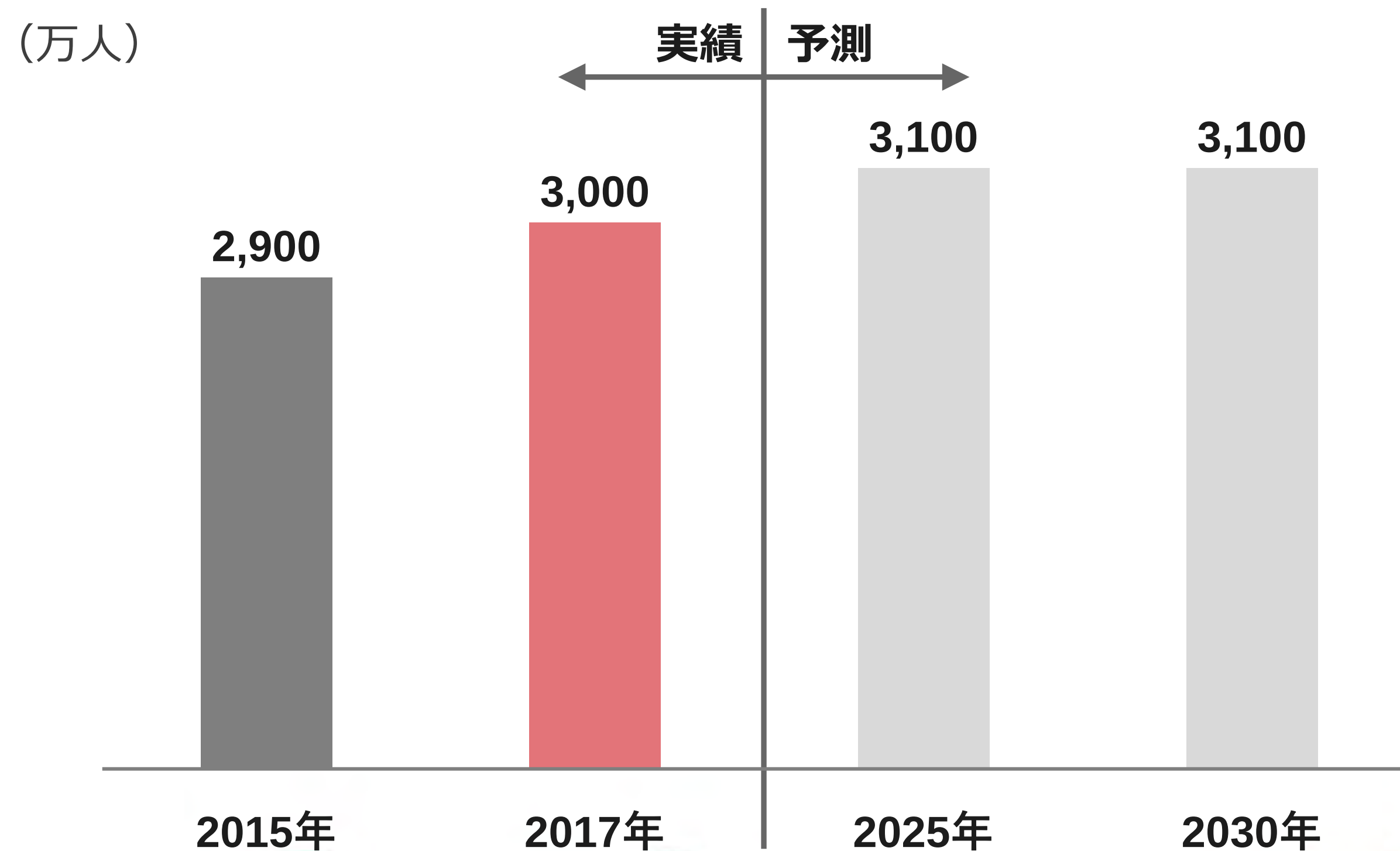


## ■女性やシニア、外国の方々など働き手が多様化

就業者高齢者比率



女性労働者人口推移



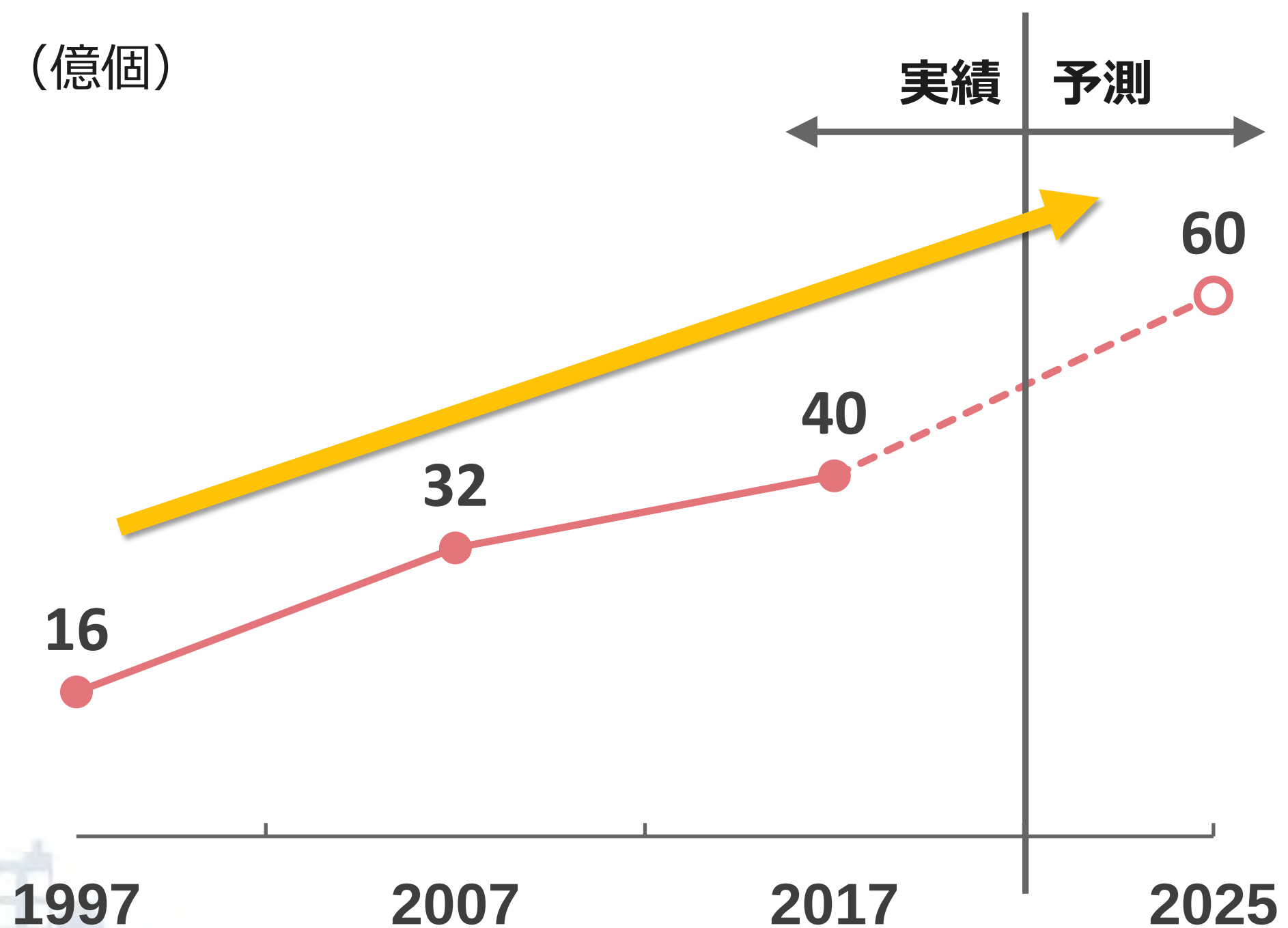
出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング  
「労働力人口・労働投入量の予測」



■ 新型コロナの影響もあり、Eコマース需要が増加傾向

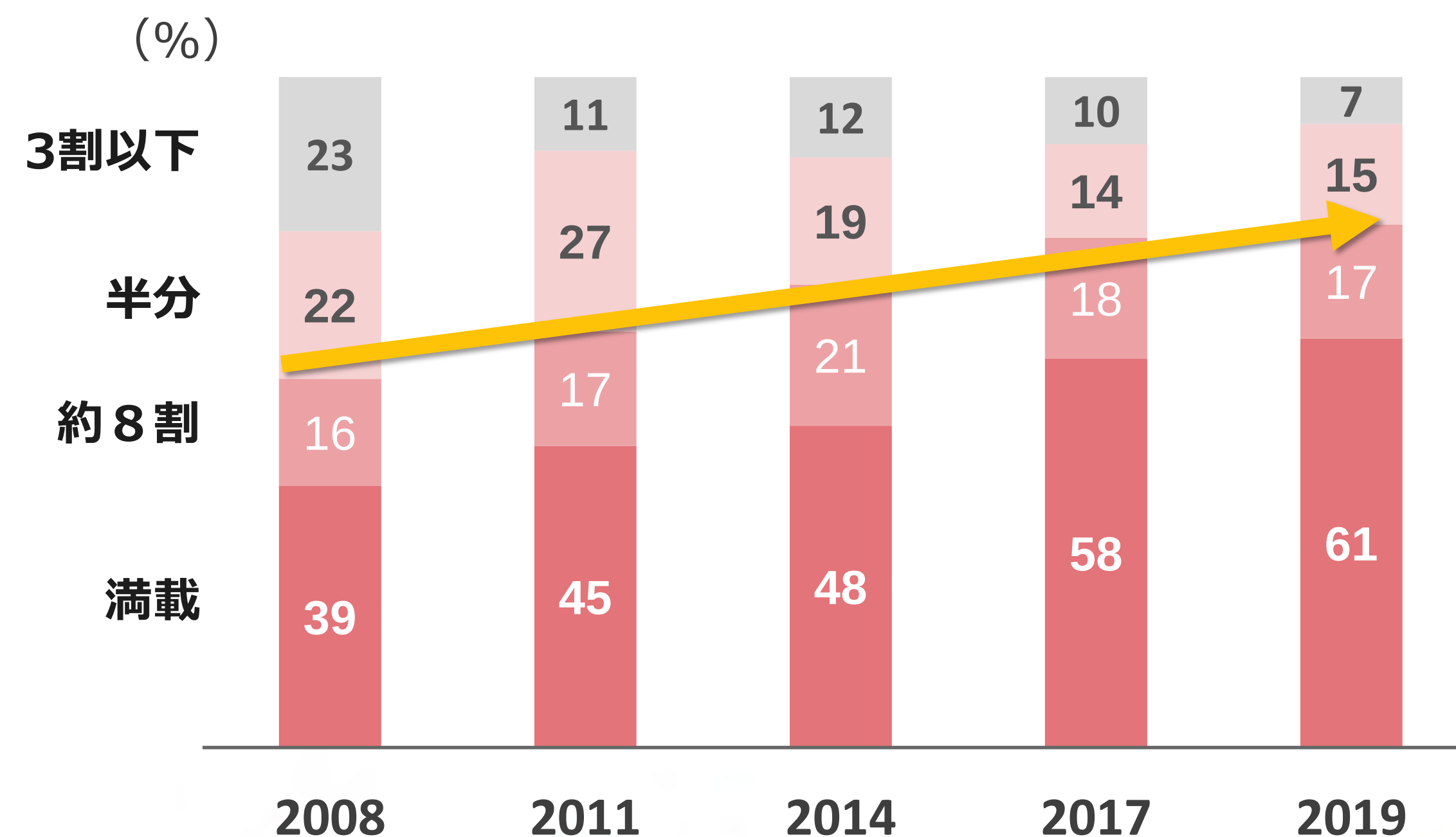
■ 小口配送や1台当たりの積載量も増加

### 小口配送数量推移



出典：国土交通省

### 1台当たりの積載量推移（配送業）



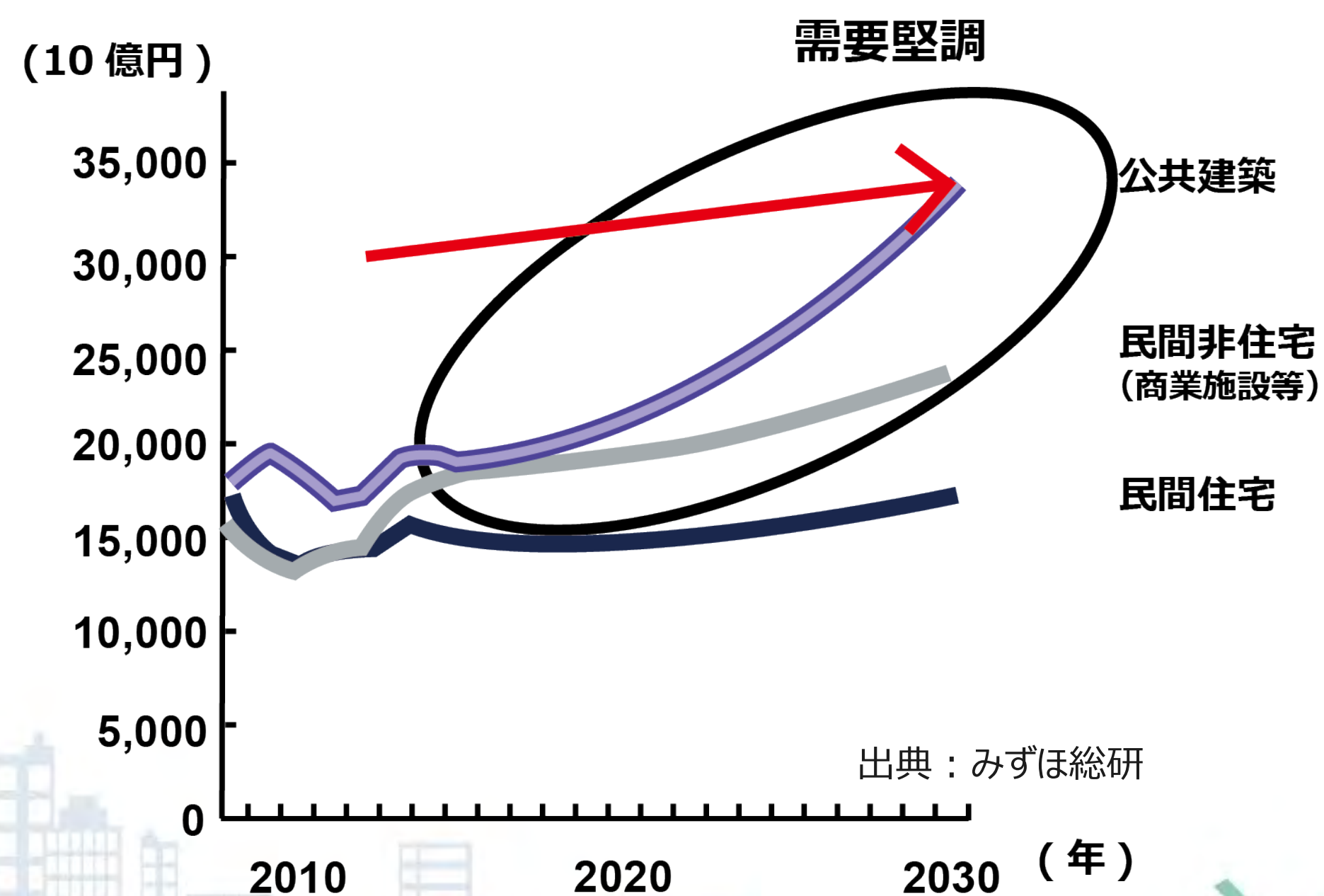
※ダイハツ調べ



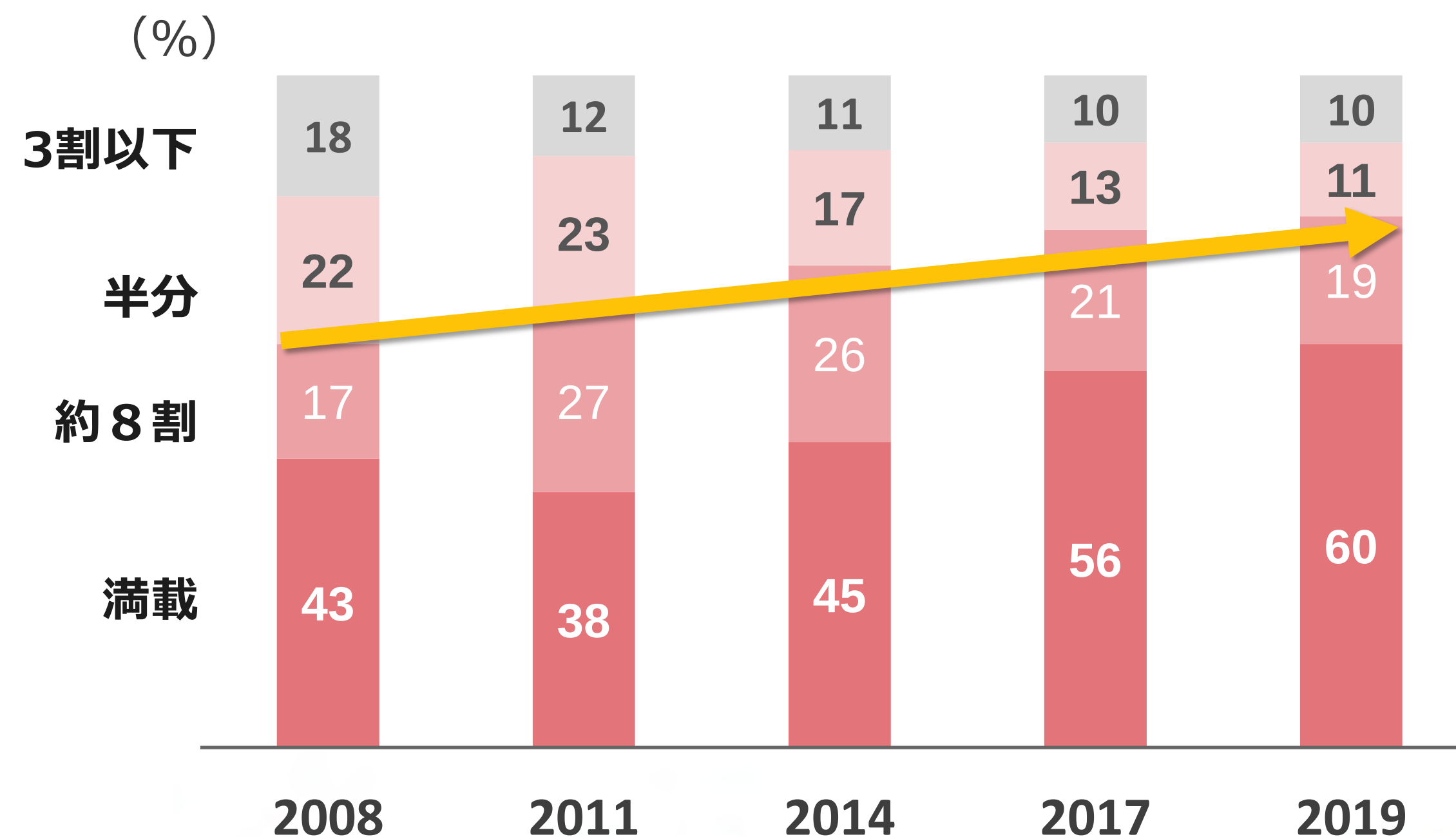


## ■建設需要増や人手不足により、 一人当たりに求められる役割が増え、使用する工具や資材も増加

### 建設需要の変化



### 1台当たりの積載量推移（建設業）



※ダイハツ調べ



現地現物で様々なお客様の使い方やご要望を聞き込み







## 3 車種同時進化

Light you up

働き手の多様化や使われ方の変化に対応すべく大幅商品強化



新型「ハイゼット カーゴ」

効率 極めた  
活力カーゴ



新「ハイゼット トラック」

たさいトラック  
(多載、多才、多彩)



新型「アトレー」

使い尽くせる  
マルチBOX



# INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

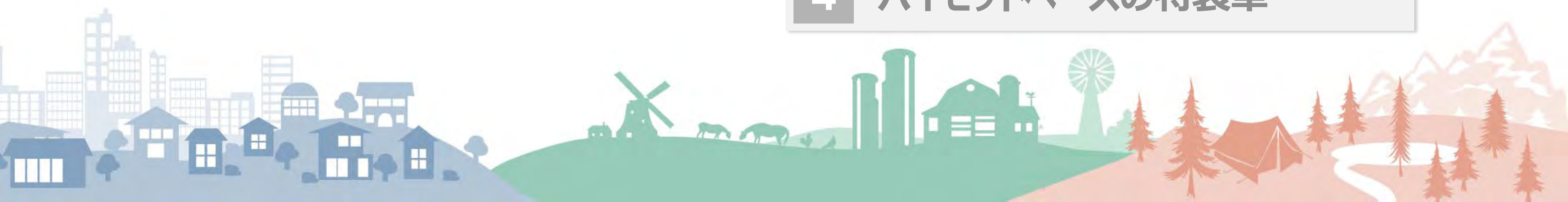
II 各車種の進化

1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車







## DNGAの考え方

良品廉価

最小単位を  
極める

先進技術を  
みんなのものに

## 商用DNGAの考え方

- 商用車は毎日の仕事や生活で使う「相棒」的存在



全ての働く方々にとって、  
「安全・安心・心地よく」働くことができる



見て

分かりやすく  
機能的なデザイン

触って

操作しやすく  
自然に使える機能

乗って

疲れにくく  
運転しやすい走り



「基本性能（燃費・走り）」「安全性能」「使い勝手の良さ」に徹底的にこだわって進化

**HIJET**  
C A R G O



**ATRAI**



**HIJET**  
T R U C K



17年ぶりにプラットフォームを一新

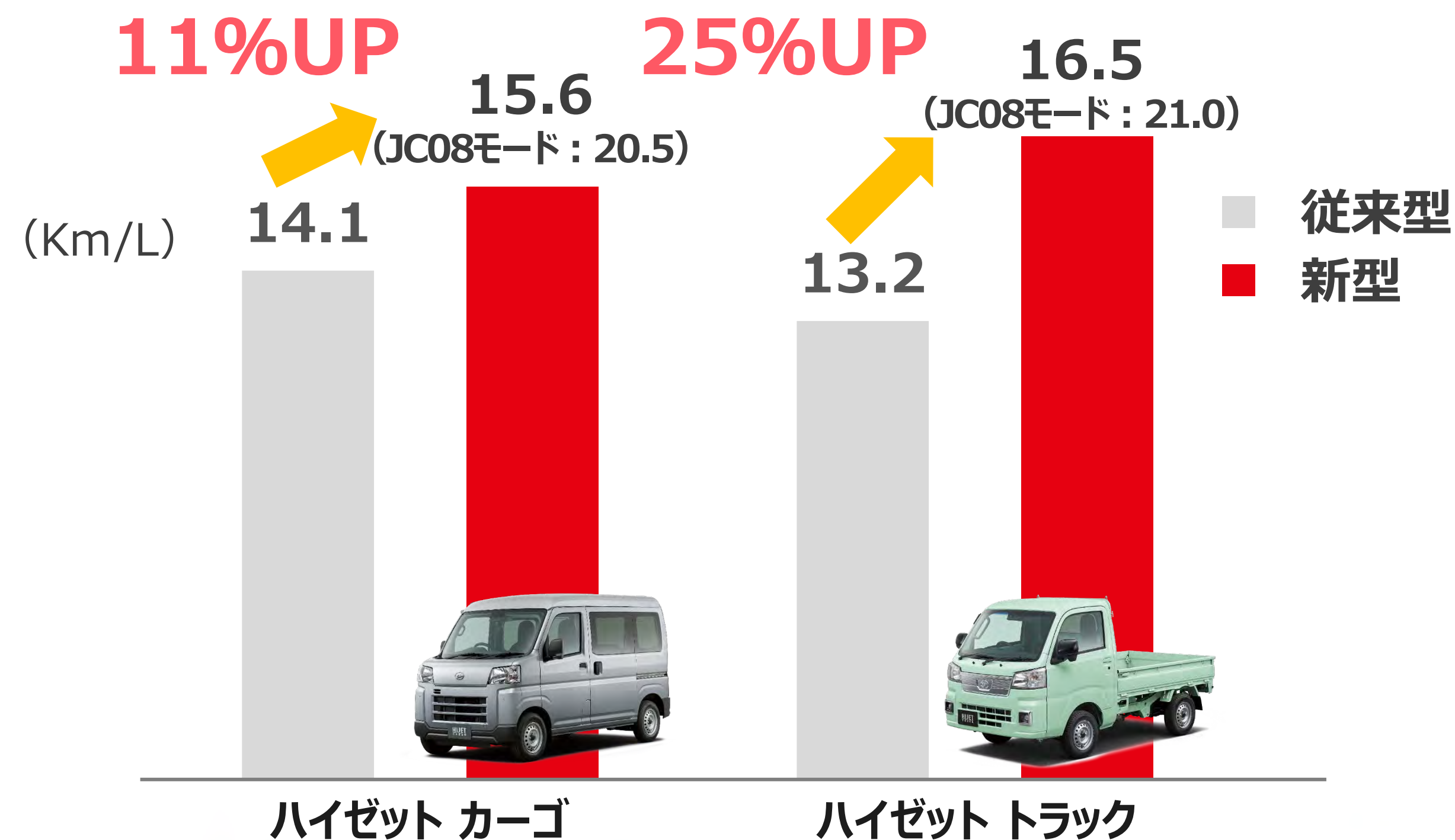
パワートレインを刷新





## 誰でも運転しやすい新開発FR用CVTを採用 クラストップレベル※<sup>1</sup>の燃費性能を実現

### 新開発のFR用CVT



軽キャブオーバー（FR車）初※<sup>2</sup>

いち早く商用CAFE規制へ対応

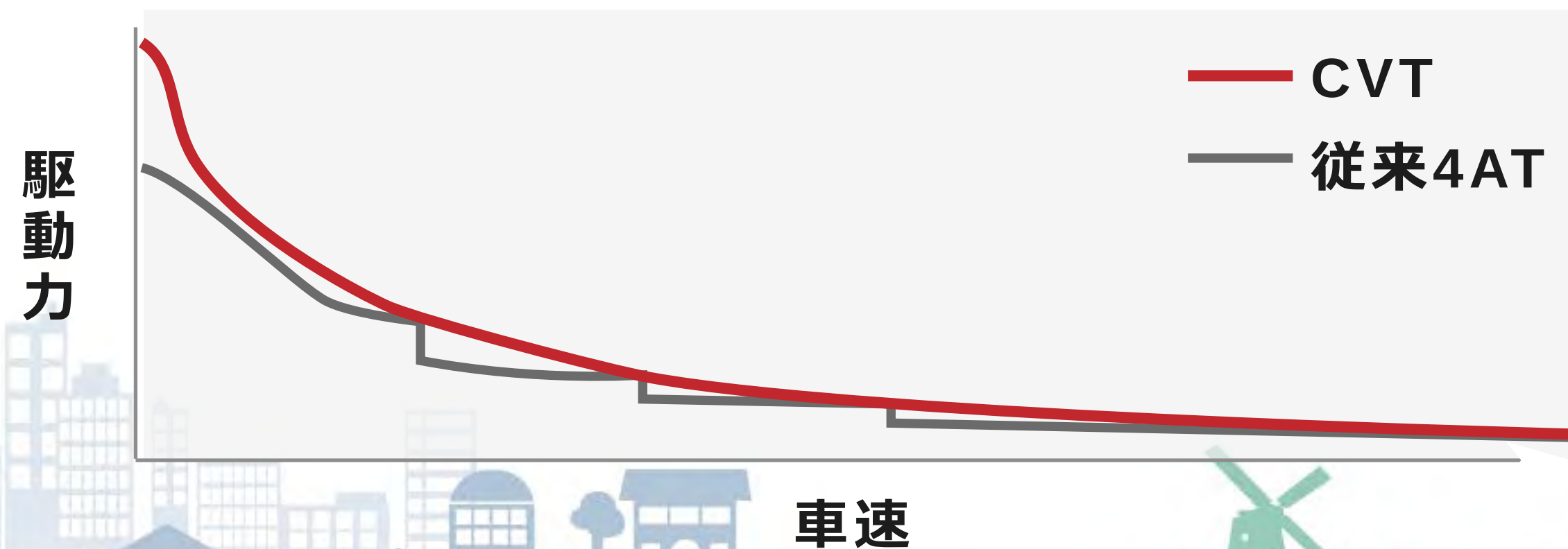
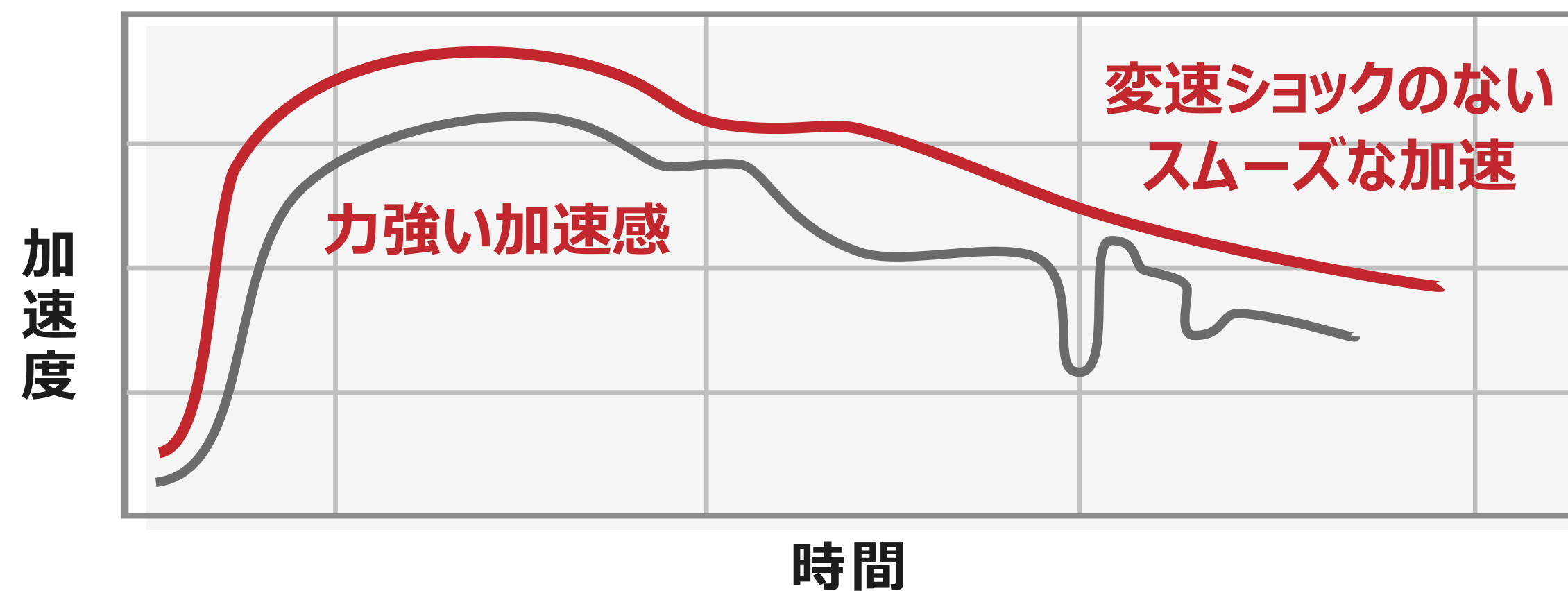
※<sup>1</sup>:2021年12月現在、ダイハツ調べ。燃費はWLTCモード（2WD/CVT・AT/NA）。国土交通省審査値。他社にも同数値の車があります  
 ※<sup>2</sup>:2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用のクルマがあります





スムーズな発進や高い静粛性を実現し、運転中のストレスを低減

## 発進加速イメージ



上り坂でもスイスイ進める



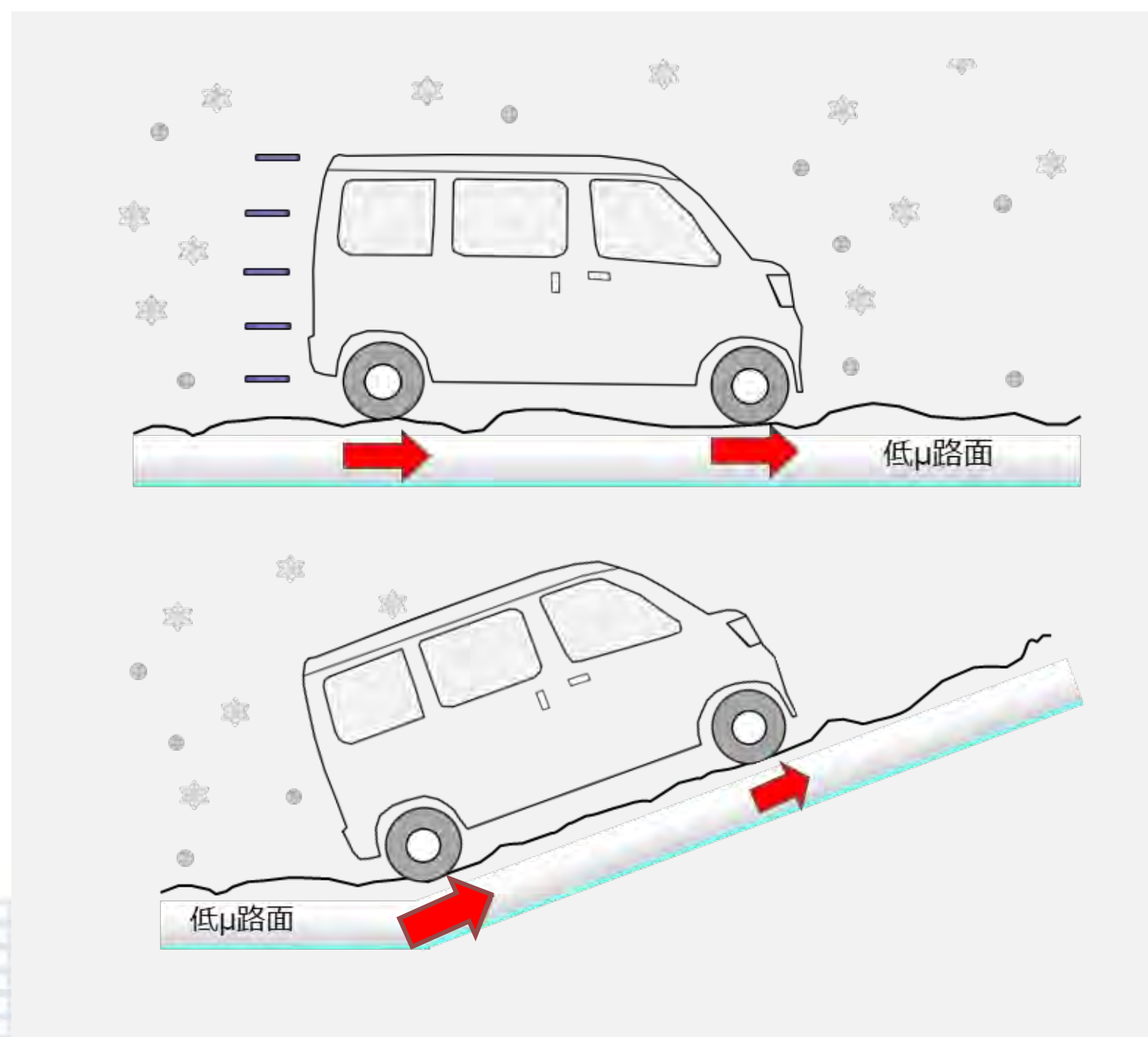


## 悪路や雪道でも安心な電子制御式4WDをCVT車に採用 ハイゼットトラックCVT車にはスーパーデフロックを採用

### 電子制御式4WD

クラス初※1

路面状況に応じて前後輪に最適なトルク配分



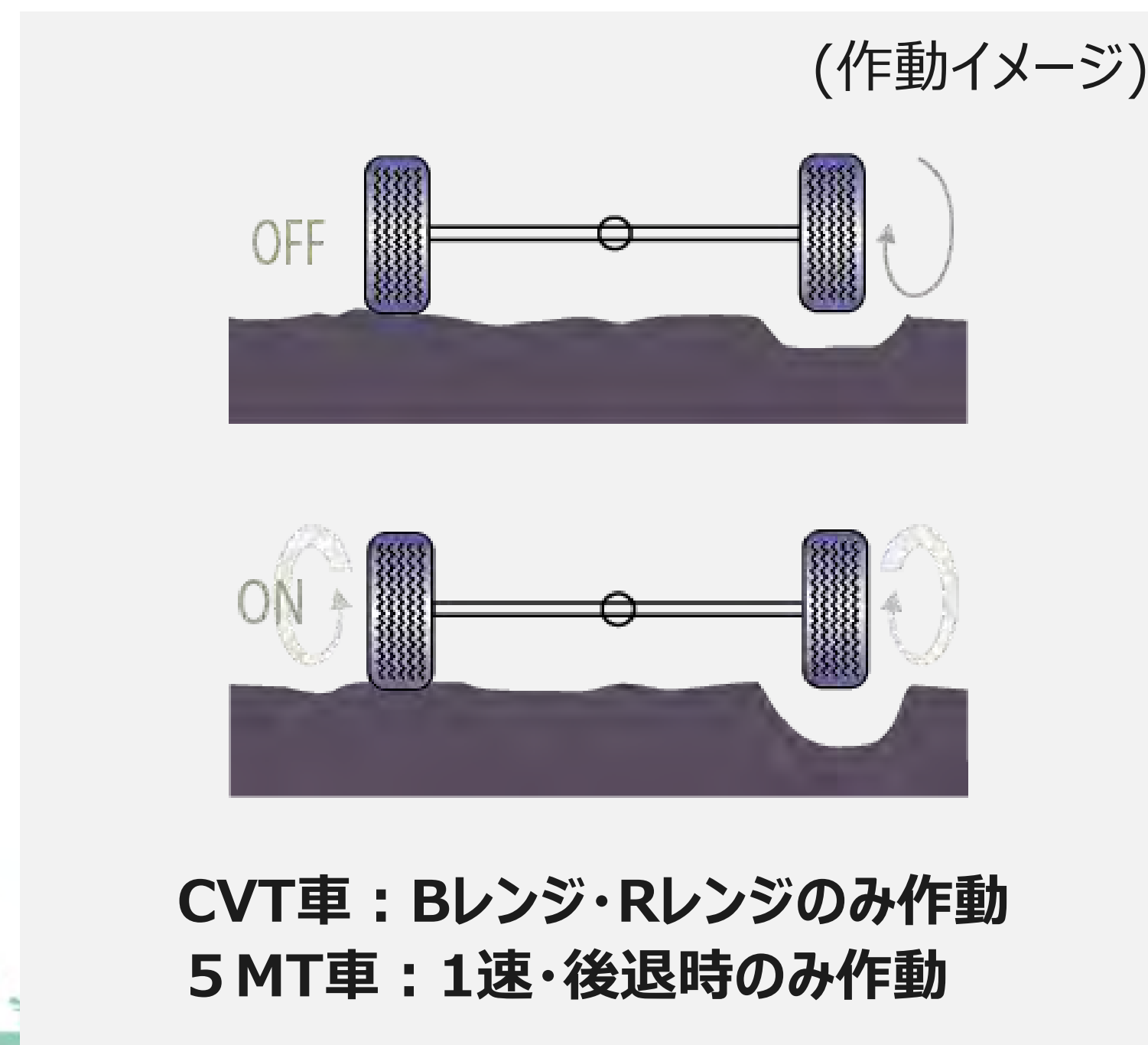
### スーパーデフロック

軽キャブトラック  
(CVT車) 初※2

ぬかるみ脱出も容易



切替スイッチ

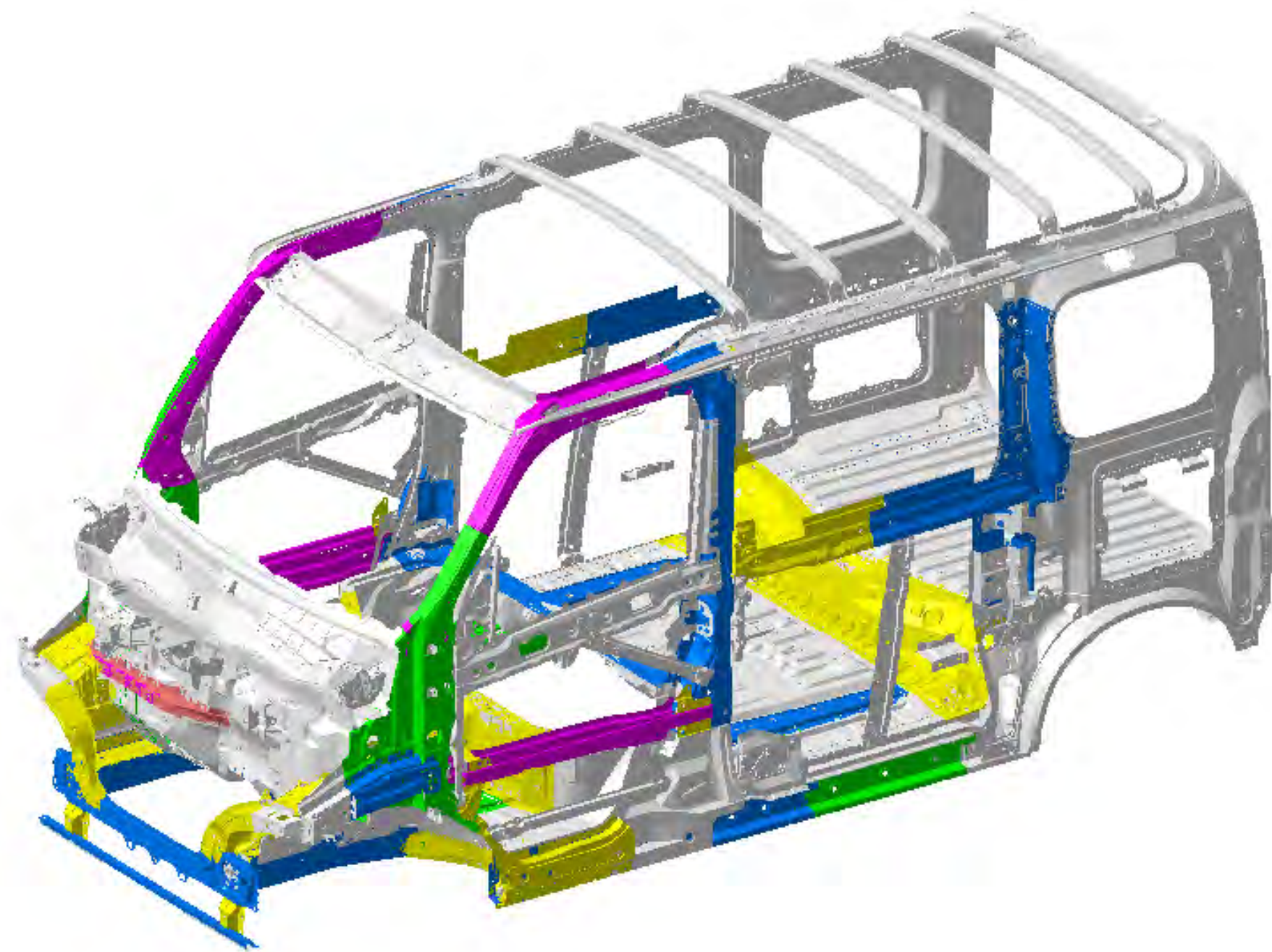


※1:軽CV、軽CTとして初。他社にも同時に初採用のクルマがあります。2021年12月現在、ダイハツ調べ  
※2:2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用の車があります





**ボディ構造は軽量化や剛性向上を実現  
「まっすぐ走って」「思い通りに曲がり」「乗り心地」を向上したサスペンション**



**毎日使われる商用車だからこそ、運転のしやすさや疲れにくさを追求**





## 最新のステレオカメラを使った予防安全機能「スマートアシスト」で 安全・安心性能も進化

### 全13※機能を搭載

#### 衝突回避支援



衝突回避  
支援ブレーキ機能  
(対歩行者・車両)



衝突警報機能  
(対歩行者・車両)



誤発進抑制制御機能  
(前方・後方)



車線逸脱  
抑制制御機能



車線逸脱警報機能



路側逸脱警報



ふらつき警報

#### 認識支援



先行車発進  
お知らせ機能



標識認識機能



オートハイビーム



ADB  
(アダプティブ  
ドライビングビーム)



サイドビューランプ

#### 駐車支援



コーナースンサー  
(前方・後方)



アトレーはさらに全車速追従機能付ACC・LKCを搭載

※スマートアシストの機能は車種/グレードによって異なります (一部はメーカーオプション)





衝突回避支援機能が進化し、夜間の歩行者にも対応  
誤発進抑制機能（前・後方）にはブレーキ制御を追加







## 後方視界を確保するスマートインナーミラーを採用

クラス初※

### 荷物満載時



鏡面モード

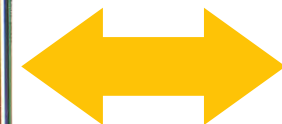


デジタルモード

### 夜間走行時



鏡面モード（夜間）



デジタルモード（夜間）



スマートインナーミラー  
カメラ部



バックカメラとも連動

※軽CV、軽CTとして初。他社にも同時に初採用の車があります。2021年12月現在、ダイハツ調べ



# INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化



1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車

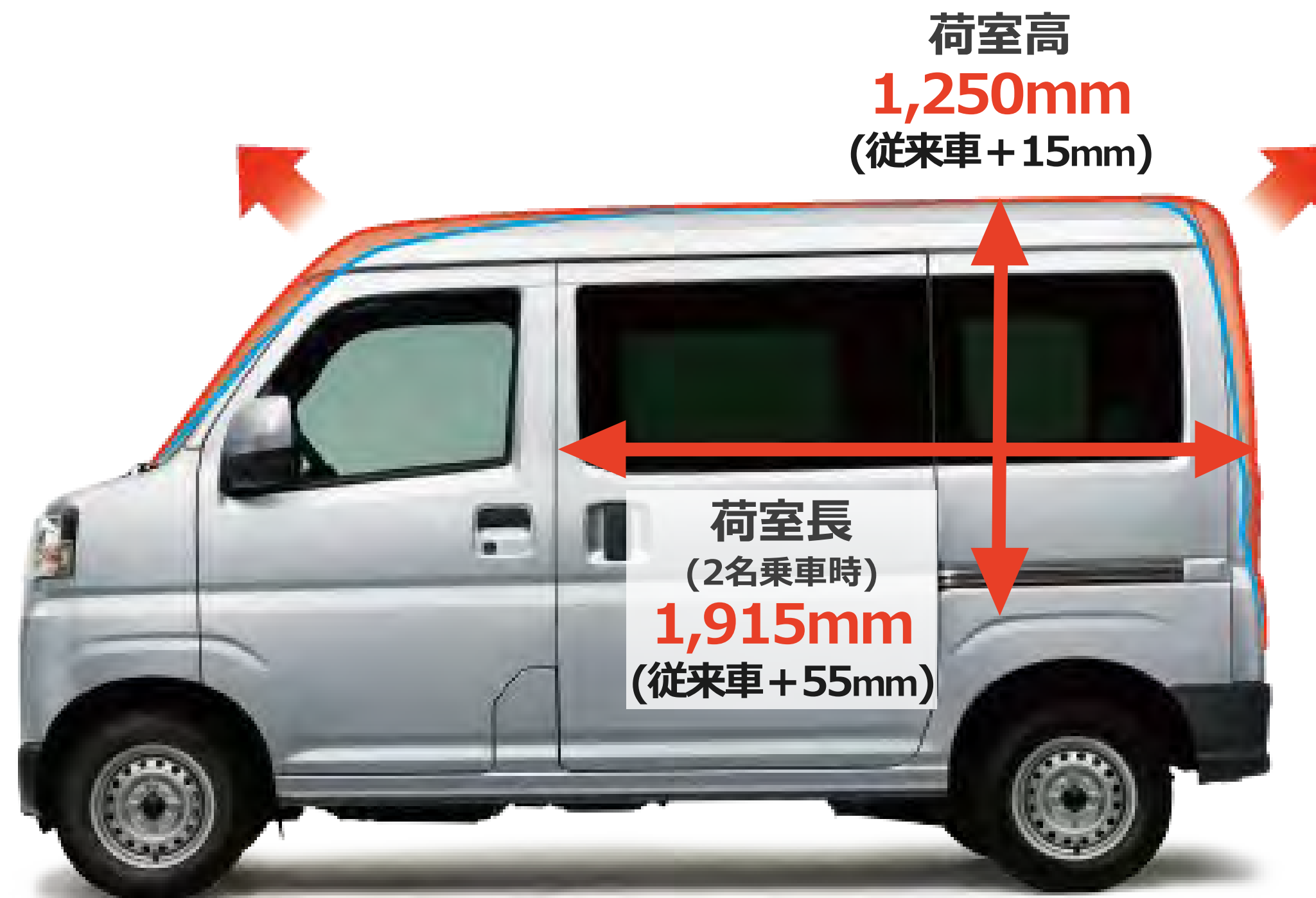




## 車体のスクエア化により、クラス最大※の積載スペースを実現 多くの荷物を効率的に積みたいお客様のニーズにお応え



一回で荷物を  
全て積みたい  
(配送業)

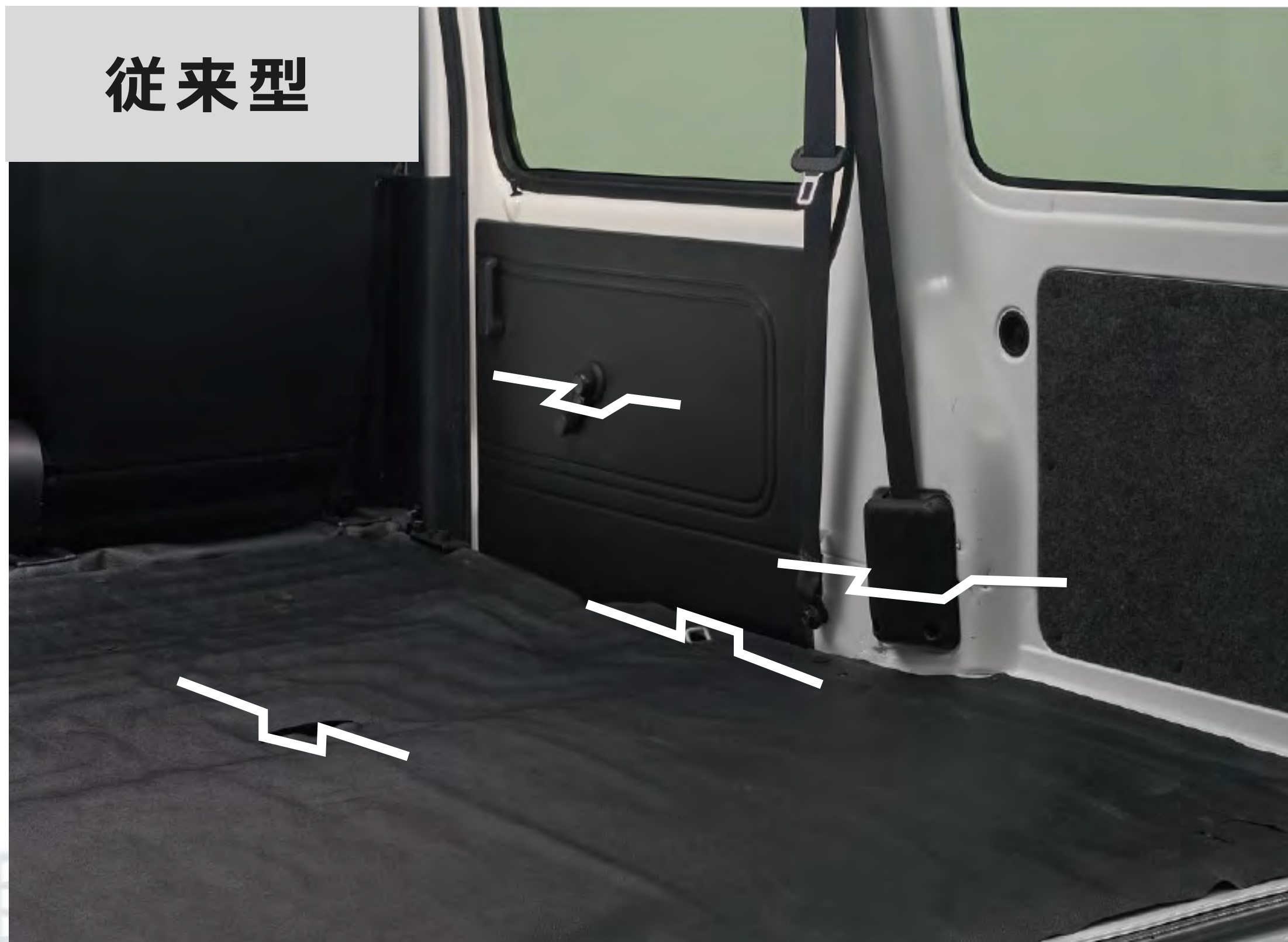


※軽CVとして、荷室長/荷室幅（4名乗車時）/荷室高で最大。  
2021年12月現在、ダイハツ調べ（社内測定値）。他社にも同数値の車があります



凹凸のないフラットな床面・側面により、荷物を積みやすく、傷つけにくい構造へ

従来型



新型



金具等の凹凸がなくなりフラットに



## 多様なお客様の使用用途に対応し、アレンジしやすい荷室を実現



棚を作るなど  
道具を整理したい  
(建設業)



荷室ナット数を2倍に増加



荷室上部



デッキサイド



● 全グレード共通  
● デラックス/スペシャルのみ



## お客様の生の声を反映した収納スペースや、力の弱い方にも使いやすい快適装備を採用



書類などを整理整頓したい

### 収納スペース



簡単にドアを開け閉めしたい

### 快適装備

#### ■ パワースライドドア※1

クラス初※2



#### ■ キーフリーシステム & プッシュボタンスタート※1

クラス初※2



※1:標準装備のグレードと一部メーカーオプションのグレードがあります

※2:軽CVとして初。2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用の車があります

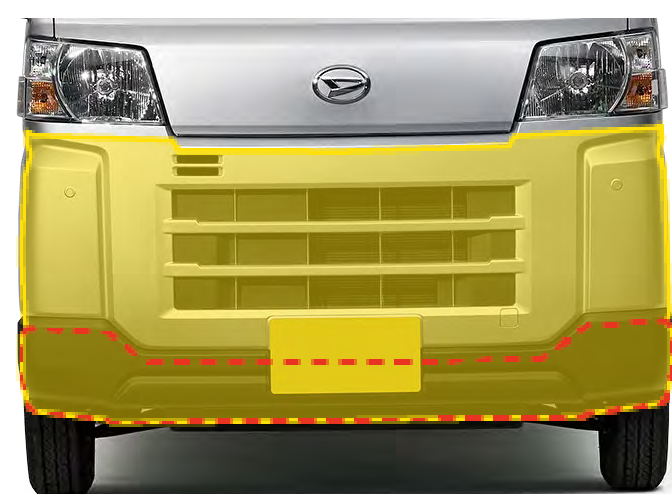


## シンプルで力強い内外装デザインと全7色の豊富なカラーバリエーション

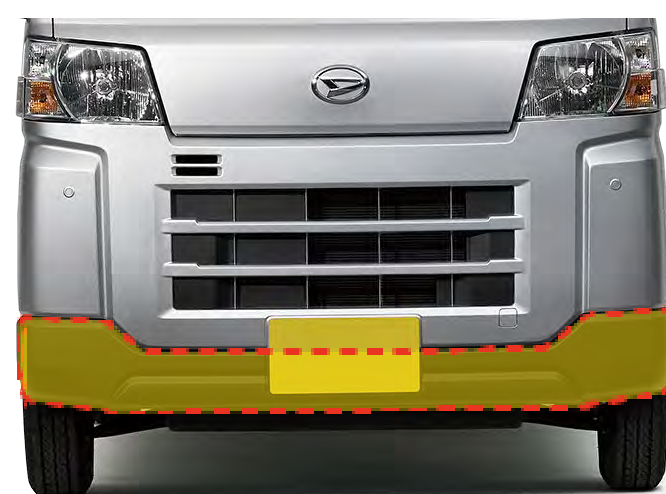
傷が付いていると印象が悪いので  
気軽に修理したい（小売業/運輸業）



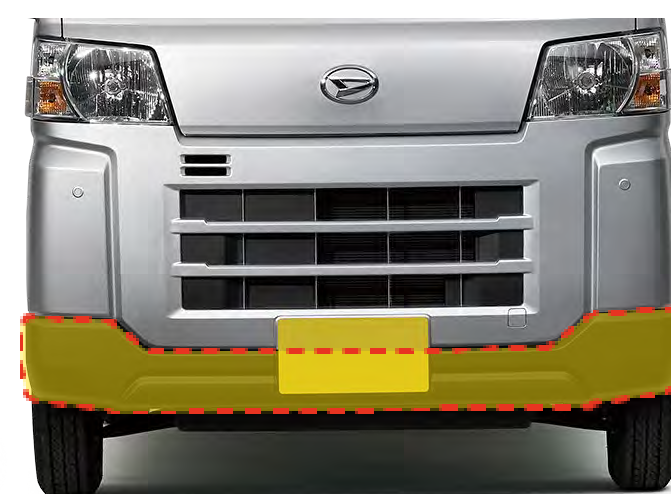
上下2分割で交換可能な経済的なバンパー



スペシャルクリーン  
/スペシャル(材着)



デラックス(材着)



クルーズターボ/クルーズ  
(ボディ同色)

※グレードによって仕様が異なります



ブライトシルバーメタリック  
<S28>



ホワイト  
<W19>



アイスグリーン  
<G62>※



トニコオレンジメタリック  
<R71>※



シャイニングホワイトパール  
<W25>※



ブラックマイカメタリック  
<X07>※



オフビートカーキメタリック  
<G55>※

※メーカーオプション。オフビートカーキメタリックはデッキバンGのみに設定



## 建設業等のお客様に好評なダイハツ独自商品※のデッキバン 広々空間で使い勝手の良いフレンドシップシリーズ（福祉車両）

### ハイゼット デッキバン



汚れた荷物やかさ張るものも積載可能

### ハイゼット スローパー



車いすの足元スペースも広々  
低床フロアで乗降しやすい

※オープンデッキの4人乗り軽自動車として。2021年12月現在、ダイハツ調べ



## ハイゼット カーゴ



※写真はデラックス

1,045,000～1,606,000円

## ハイゼット デッキバン



※写真はデッキバンG

1,320,000～1,705,000円

## ハイゼットスローパー



1,685,000～1,825,000円

メーカー希望小売価格（消費税込み）  
※ハイゼットスローパーは消費税非課税



# INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化



1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

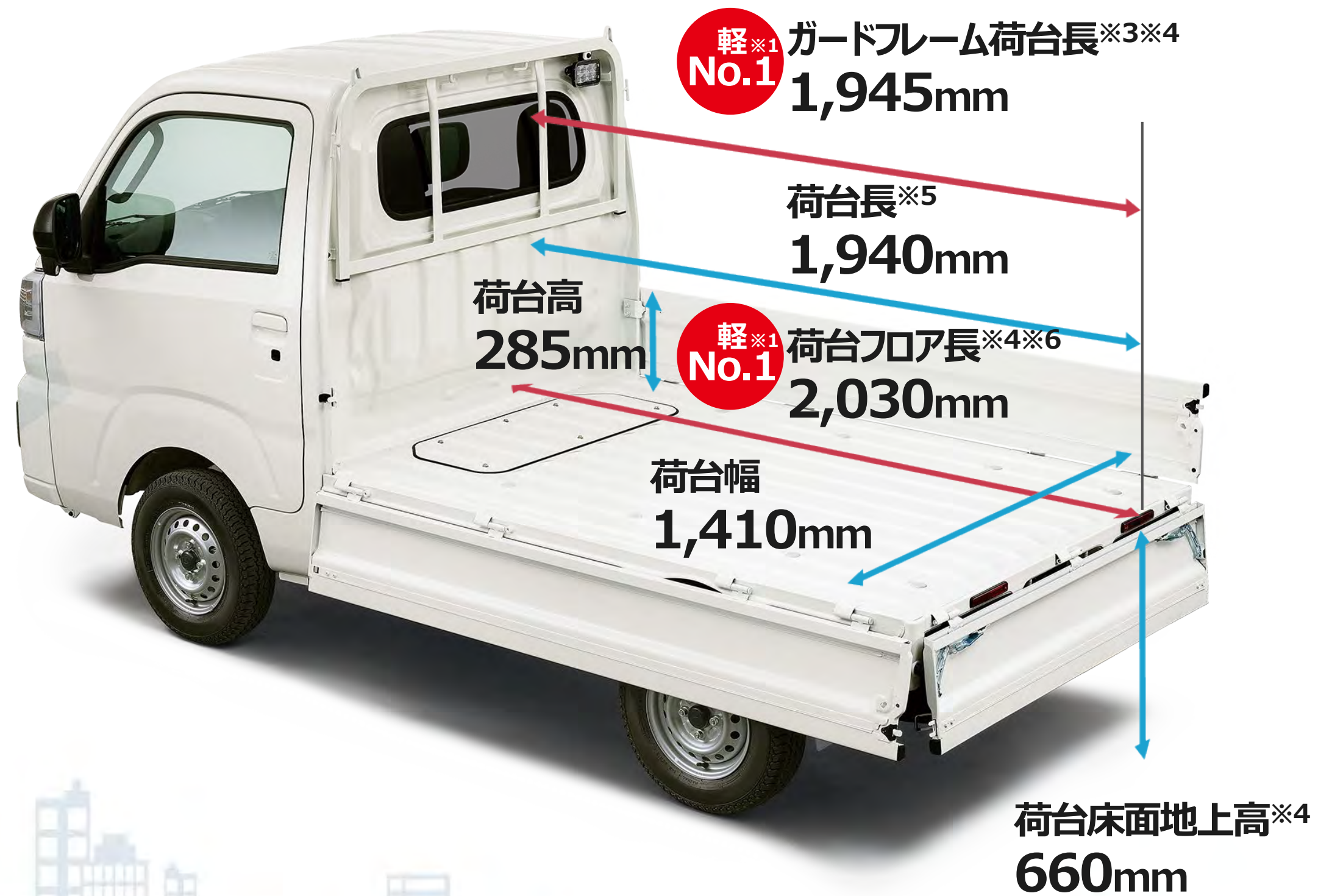
3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車





## 軽トラックNo.1※<sup>1</sup>の荷台フロア長、LED大型荷台作業灯※<sup>2</sup>を採用



夜間でも安全に荷物を積みたい

クラス初※<sup>7</sup>



※<sup>1</sup>: 2021年12月現在。軽CTとしてNo.1。ダイハツ調べ。他社にも同数値の車があります

※<sup>2</sup>: 標準装備のグレードと一部メーカーオプションのグレードがあります

※<sup>3</sup>: ガードフレームからテールゲートまでの荷台の長さ。ジャンボは1,670mm

※<sup>4</sup>: 社内測定値 ※<sup>5</sup>: ジャンボは1,650mm ※<sup>6</sup>: ジャンボは1,990mm ※<sup>7</sup>: 軽CTとして初。2021年12月現在、ダイハツ調べ



## お客様の声を反映した豊富な収納スペースや、使い勝手の良い快適装備を採用



日常使いする際、狭い駐車場では  
ドアミラーを畳みたい

### 室内空間収納スペース



汚れた手でもドアを簡単に  
開け閉めしたい

### 快適装備

電動格納式  
カラードドアミラー※1

クラス初※2



キーフリーシステム &  
プッシュボタンスタート※1

クラス初※2



※1: 標準装備のグレードと一部メーカーオプションのグレードがあります

※2: 軽CTとして初。2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用の車があります



## シンプルで力強いデザインと全7色の豊富なカラーバリエーション



ホワイト  
<W19>



ブライツシルバーメタリック  
<S28>



オフビートカーキメタリック  
<G55>※



アイスグリーン  
<G62>※



トニコオレンジメタリック  
<R71>※



ファイヤークオーツレッドメタリック  
<R67>※



ブラックマイカメタリック  
<X07>※

※メーカーオプション。ファイヤークオーツレッドメタリックはジャンボ エクストラのみに設定



## ゆとりある室内スペースが好評のハイゼット ジャンボ ハイゼットトラック販売の約20%を占めるまで成長



広い車内で快適に運転したい

新設定のスタンダードグレード



荷物置き等に最適なスペース



※社内測定値



## ハイゼット トラック



※写真はエクストラ



※写真はジャンボ エクストラ

902,000～ 1,452,000円

メーカー希望小売価格（消費税込み）



# INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化



1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

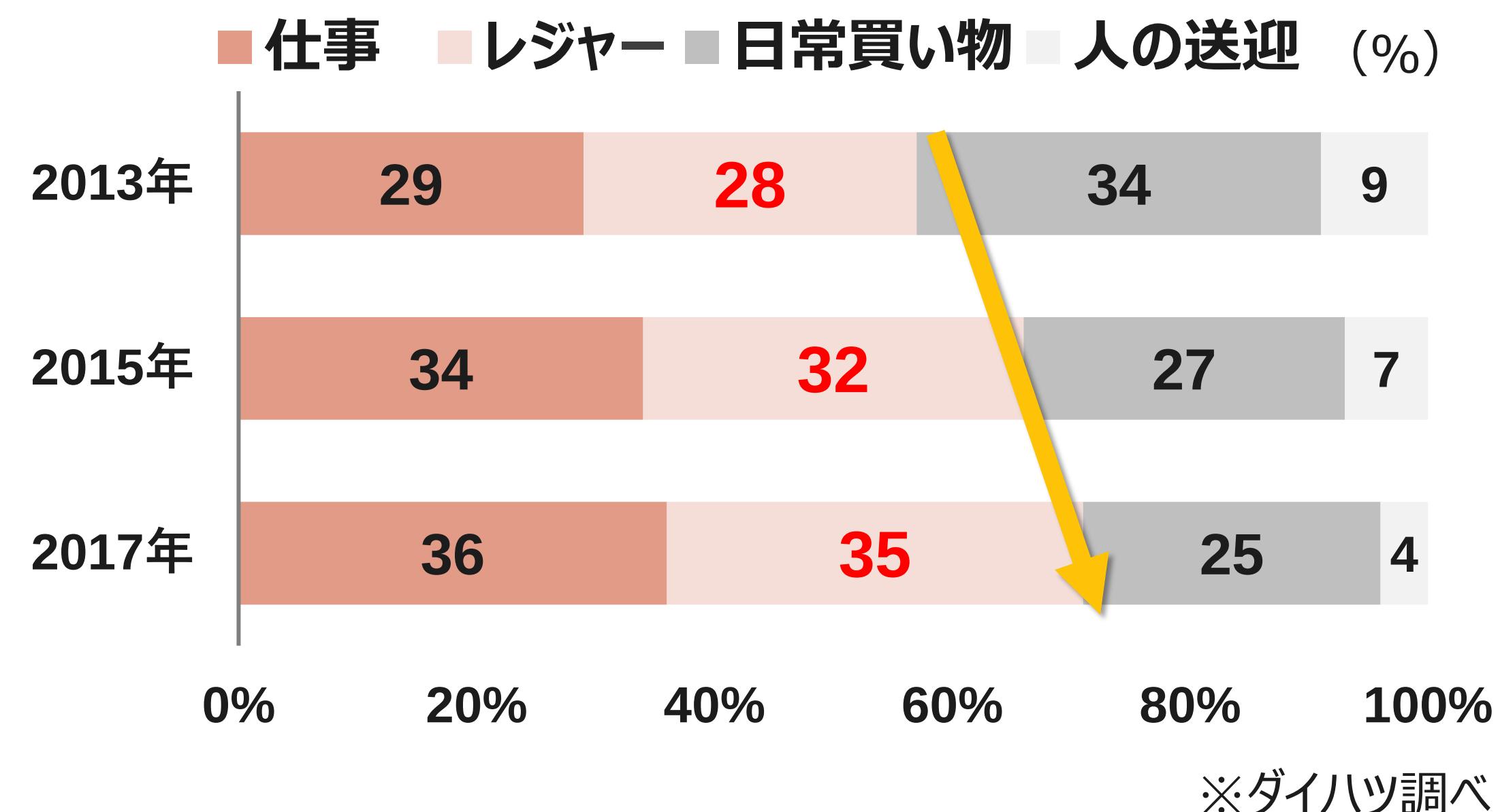
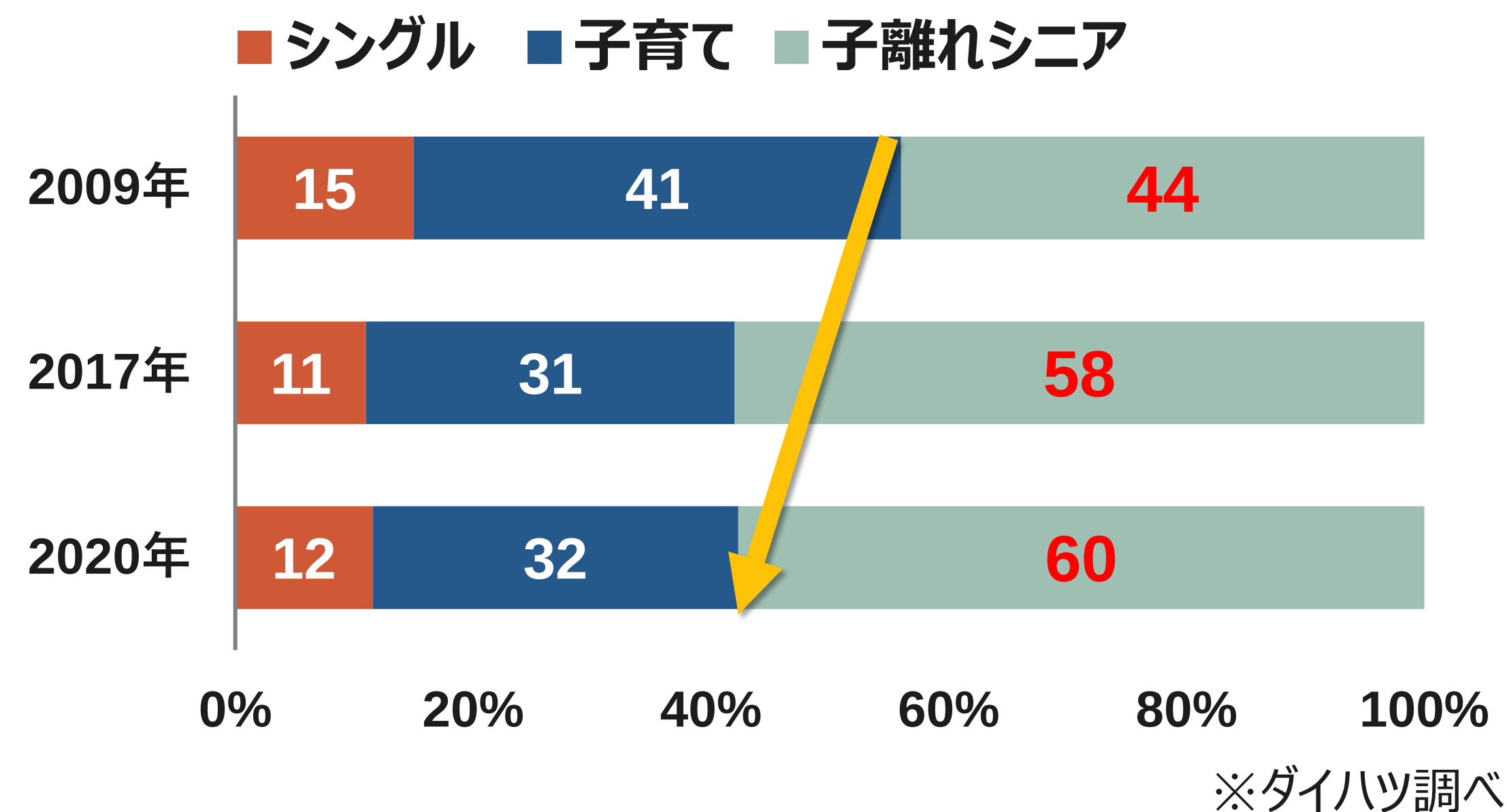
4 ハイゼットベースの特装車





## 子離れシニアユーザーが増えると同時に、レジャー用途も増加

### 軽キャブワゴン・軽乗用バン ライフステージ推移/軽キャブワゴン用途の変化



キャブオーバーのパッケージングを最大限生かし  
レジャーを中心とした新しいニーズに対応



## レジャー等の新しいニーズに対応するため、 広い居住・荷室空間と、最大350kgの積載量を実現

荷室幅（4名乗車）  
1,410mm※1※3

ラゲージルーム容量  
1,275L※1※2

荷室高  
1,215mm※1※3

荷室長  
1,820mm※1※3

バックドア開口幅  
1,310mm※1※3

レジャー用品などの  
重い荷物も積載可能



※1:アトレデッキバンは異なります

※2:アトレデッキバンを除く全車の最大荷室容量。VDA方式によるダイハツ測定値

※3:社内測定値



## フラットな荷室スペースと様々なシーンで活躍するアトレーならではの装備

水平格納式リヤシートを採用



荷室に机を取り付けたい



■ ポップアップ機構付リヤガラス

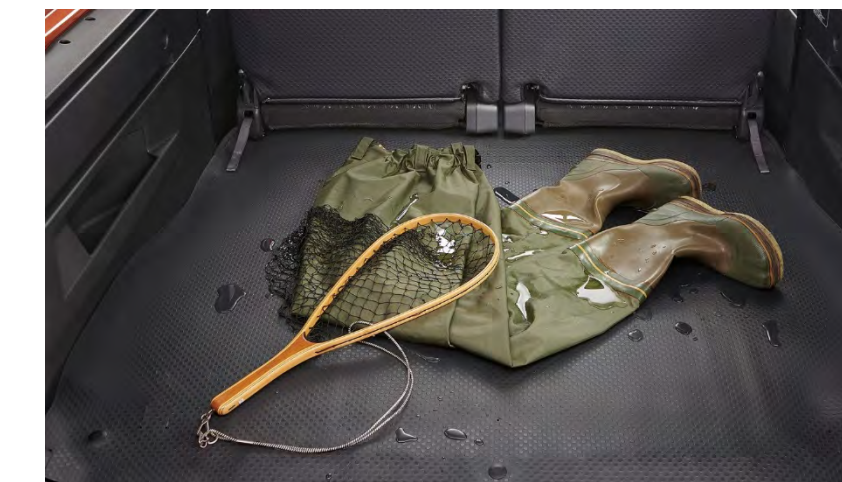


■ テーブル固定可能なデッキサイドトリム※

汚れても簡単に掃除したい



■ マルチフック



■ イージーケアマット

※RS、Xに標準装備



## 乗降時に便利な快適装備をクラス初※<sup>1</sup>採用 遠出でも快適な運転負荷軽減機能を採用

### 快適装備



■ イージークローザー・  
両側パワースライドドア※<sup>2</sup>  
(ウェルカムオープン機能付)

クラス初※<sup>1</sup>

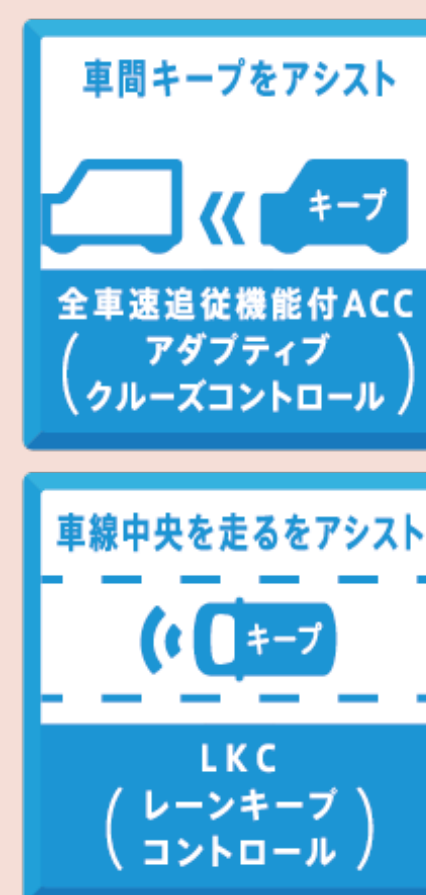
■ キーフリーシステム&プッシュボタンスタート※<sup>2</sup> クラス初※<sup>1</sup>



### 予防安全機能「スマートアシスト」

「全車速追従機能付きACC」  
「LKC」を採用

### 運転負荷軽減



※<sup>1</sup>: 軽CV (1BOX型軽商用車) として初。2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用の車があります

※<sup>2</sup>: RS、アトレーデッキバンに標準装備



## メッキ加飾などで質感にこだわった内外装デザインと 全6色のカラーバリエーション



NEW!



トニコオレンジメタリック  
<R71>



レーザーブルークリсталシャイン  
<B82>※



ブライトシルバーメタリック  
<S28>

NEW!



オフビートカーキメタリック  
<G55>



ブラックマイカメタリック  
<X07>

NEW!



シャイニングホワイトパール  
<W25>※

※メーカーオプション



## アトレーにもデッキバンを初設定し、多彩なバリエーションを実現

### アトレー



※写真はRS

1,562,000～1,826,000円

### アトレーデッキバン



1,914,000～2,068,000円

### アトレスローパー



2,060,000～2,200,000円

メーカー希望小売価格（消費税込み）

※アトレスローパーは消費税非課税



# INDEX

▶ 開発のねらい

▶ 商品概要

I 共通の進化（商用DNGA）

II 各車種の進化



1 新型ハイゼット カーゴ

2 新ハイゼットトラック

3 新型アトレー

4 ハイゼットベースの特装車







# ハイゼットベースの特装車

豊富な特装車ラインナップにより、お客様のニーズにきめ細やかに対応



## ダンプシリーズ

### ■ 多目的ダンプ



土砂  
禁止

### ■ ローダンプ



土砂  
禁止

### ■ 土砂ダンプ



土砂  
OK

### ■ 清掃ダンプ



土砂  
禁止



## リフトシリーズ

### ■ 垂直式テールリフト



### ■ コンパクトテールリフト



## 保冷・冷凍シリーズ

### ■ カラーアルミ中温冷凍車



-5℃

### ■ FRP中温冷凍車



-5℃

### ■ カラーアルミ低温冷凍車



-20℃

### ■ カラーアルミ保冷車



### ■ FRP保冷車



## 配送シリーズ

### ■ デッキバン



### ■ アトレーデッキバン



### ■ パネルバン



### ■ カーゴセパレート2シーター



### ■ カーゴ 2シーター



### ■ カーゴ 2シータークリーン



全4シリーズ・13機種（17種類）の豊富なバリエーション



全ラインナップを国内工場一貫生産化し  
ベース車両同様の品質で、お客様へ明確な納車時期をお伝え可能に

ベース車生産



架装部品組付



検査・保証

ベース車生産から架装組付、検査まで一貫して実施





Light  
you  
up

